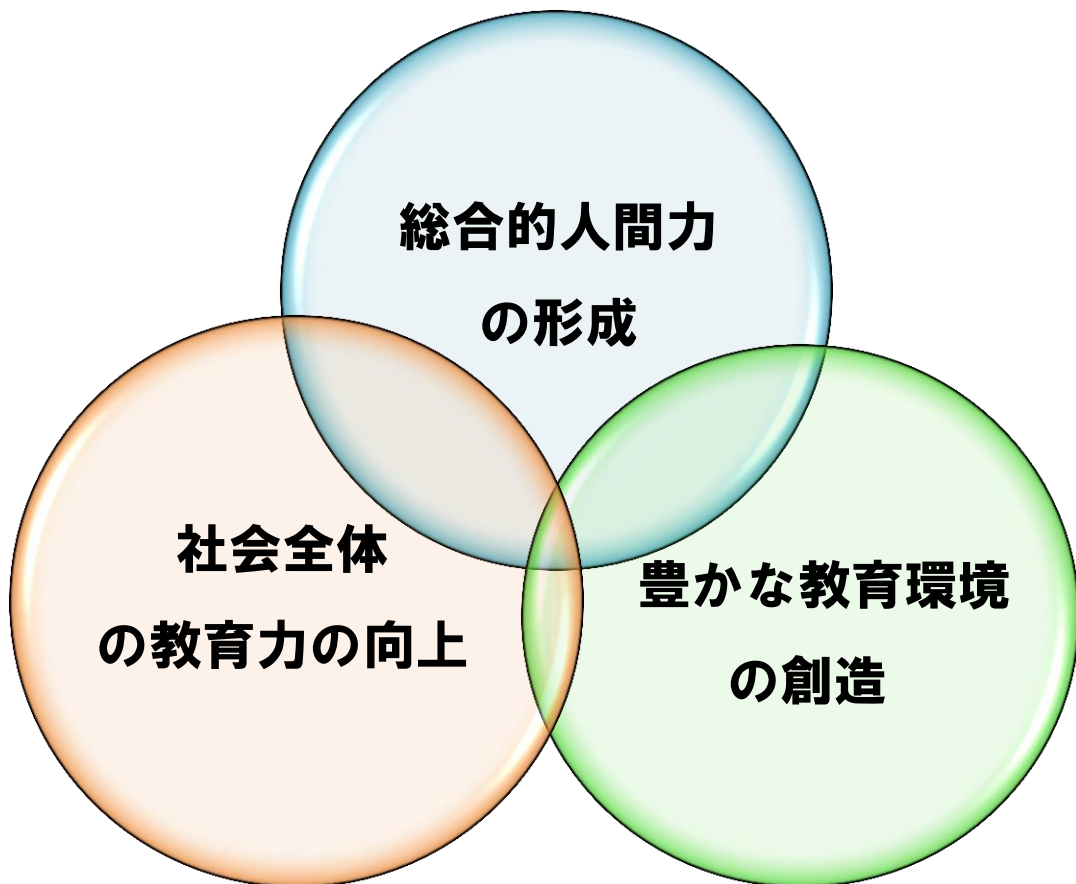


平成 28 年度  
(2016 年度)

# 重点項目 (施策)



吹田市教育委員会

## 平成 28 年度 重点項目（施策）

吹田市教育委員会は、本市の教育振興基本計画である「わが都市<sup>まち</sup>すいたの教育ビジョン」を平成 22 年度（2010 年度）から平成 31 年度（2019 年度）までの 10 年間で計画期間とし、計画期間全体を通じめざす教育理念と基本目標を掲げるとともに、実現させるために取り組む教育施策の方向性を基本計画に示しています。社会情勢の変化や新たなニーズに対応するため、これまでの取組の状況や課題などを踏まえ、平成 26 年度（2014 年度）に中間見直しを行いました。

この教育ビジョンの実現に向け、平成 28 年度は次の 15 の項目（施策）について重点的に取り組めます。

1. 子育て支援の推進（児童部）
2. 認定こども園化の推進（児童部）
3. 小中一貫教育の推進（学校教育部）
4. 確かな学力の育成（学校教育部）
5. 今日的課題に対応した教育の推進（学校教育部）
6. 生徒指導の充実（学校教育部）
7. 特別支援教育の充実（学校教育部）
8. 生涯学習プログラムの充実（地域教育部）
9. 青少年の仲間づくり・居場所づくりの推進（地域教育部）
10. 青少年相談の充実（地域教育部）
11. 学校・園施設の整備（行政経営部）（学校教育部）
12. 安心・安全の確保（学校教育部）
13. 学校・園運営体制の確立（学校教育部）
14. 教育資料の提供と教職員研修の充実（学校教育部）
15. 生涯学習施設の整備・充実（地域教育部）

この平成 28 年度の「重点項目（施策）」は平成 28 年度終了後に、教育委員会自らが取組の検証を行い、その成果と課題について、「平成 28 年度 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」において市民へ説明するとともに、教育行政の情報提供を積極的に行ってまいります。



## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 1 子育て支援の推進

平成27年度より子ども・子育て支援新制度の実施にあわせ、公立幼稚園での預かり保育事業を保育士又は幼稚園教諭の資格者を配置する一時預かり事業(幼稚園型)に移行させました。9月からは、佐竹台幼稚園及び認定こども園移行予定の7園については、就労している保護者のために長期休業中を含む月曜日から金曜日の週5日実施しています。

平成28年度から、認定こども園佐竹台幼稚園では、専任の子育て支援担当職員を配置し、地域のニーズに応じた内容を実施します。また、未就園児の保育や一時預かりの保育内容についても検討し、さらに充実に努めます。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 1 幼児教育を充実し総合的人間力の基礎を培います  
 施策 3 子育て支援の推進

### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 一時預かり事業(幼稚園型)	【担当課】 保育幼稚園室	
幼稚園型認定こども園に移行予定の園は、長期休業中を含む月曜日から金曜日の週5日、教育時間終了後から希望者を対象に預かります。移行について未定の園は、水曜日・長期休業中を除く週4日を原則として実施します。	指標	H31目標値
	保護者の満足度	8割
	考え方	当初予算額
	保護者の就労支援として、満足度を高めていく。	23,954 千円

### 2 認定こども園化の推進

古江台幼稚園と北千里保育園を一体化し、質の高い教育・保育を提供するため、幼保連携型の認定こども園として整備を進めていきます。また、子ども・子育て支援事業計画に基づき、3歳児の保育需要に対応するため、公立幼稚園8園を幼稚園型認定こども園に順次移行していきます。今年度開園の認定こども園佐竹台幼稚園については、教育・保育内容や子育て支援についての充実に向けて取組むとともに、カリキュラム等について検証し、今後開園予定の園の内容充実につながるよう検討を重ねます。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 1 幼児教育を充実し総合的人間力の基礎を培います  
 施策 4 認定こども園化の推進

### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 (仮称)北千里・古江台認定こども園整備事業	【担当課】 保育幼稚園室	
北千里保育園と古江台幼稚園を一体化し、古江台幼稚園用地に新たな施設を整備し、幼保連携型認定こども園を設置します。	指標	H31目標値
	幼保連携型認定こども園の整備園数	1園
	考え方	当初予算額
	幼保連携型認定こども園としてハード、ソフト両面で子ども達にとって望ましい形の施設となるよう整備していく。	241,154 千円
【事業名】 幼稚園型認定こども園整備事業	【担当課】 保育幼稚園室	
3歳児の待機児童対策として既存の施設を活用し、保育を必要とする児童を含む3歳以上の児童を対象とする施設として幼稚園型認定こども園を順次開園します。	指標	H31目標値
	幼稚園型認定こども園に移行する園数	8園
	考え方	当初予算額
	公立幼稚園単体での認定こども園化をめざしていく。	85,438 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 3 小中一貫教育の推進

「総合的人間力」の育成を図るため、小中一貫教育を基盤とした取組の推進は重点課題と考えています。教育委員会としては幼稚園・保育園と小学校とのつながりを円滑にするとともに、義務教育9年間を一体のものとして、学力向上や豊かな心の育成など、小・中学校が連携して子どもたちに「生きる力」を身につけさせる教育活動や子どもたちの育ちを支援します。また、小中一貫教育実施プランⅡに基づき、各中学校ブロックが幼小中一貫教育カリキュラム例を参考に9年間のカリキュラム編成など小中合同研究をさらに進められるよう、小中一貫教育の取組の充実に努めます。

#### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します  
 施策 5 小中一貫教育の推進

#### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 小中一貫教育推進事業	【担当課】 指導室	
各中学校ブロックにおいて、義務教育9年間を一体のものとして、「めざす子ども像」を共有し、課題解決する能力育成に向けた授業づくり等の学習指導、生徒指導の充実及び教職員の指導力、学校運営力の向上を図ります。	指標	H31目標値
	幼小中一貫教育カリキュラムを編成した中学校ブロック数	18ブロック
	考え方	当初予算額
	小中一貫教育実施プランⅡに基づき、9年間の教育課程の編成等充実を図っていく。	1,210 千円

### 4 確かな学力の育成

教育は、未来(あす)を拓く営みであり、子どもたちの健やかな成長は全ての人々の変わらぬ願いです。本市は子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「総合的人間力」の育成を目指しており、全国学力・学習状況調査結果の分析により、これまでの教育施策の成果と課題を検証し、授業改善等の具体的方策を小・中学校に示すことで、「確かな学力」の育成を図ってまいります。また、放課後学習支援事業をはじめとする放課後の時間を活用した学力向上の取組を充実させることにより、児童・生徒の学習意欲や自学自習力のさらなる向上を目指します。

#### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します  
 施策 6 確かな学力の育成

#### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 放課後学習支援事業	【担当課】 指導室	
児童・生徒の学習意欲の向上や自学自習力の育成を図るための学習支援者を配置し、放課後等に学習支援を行うことで、学力の向上をめざします。	指標	H31目標値
	「自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童・生徒の割合	小学校 80% 中学校 70%
	考え方	当初予算額
	全ての学校で学習意欲、家庭学習に関する項目で全国値/吹田市(平成27年度 小62.8%/58.0%、中48.8%/50.6%)を上回るよう、放課後学習を活用していく。	276 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 5 今日の課題に対応した教育の推進

本市では今日の課題に対応するため、情報教育、環境教育、福祉教育、防災教育等、様々な教育活動に取り組んでいます。特にグローバル化が進む社会の中で活躍できる国際性豊かな子どもの育成を図ることは重要であると考えています。教育委員会としては中学校英語教育、小学校外国語活動の充実をめざして、英語指導助手を各小・中学校に派遣するとともに、小学校では自然に英語でコミュニケーションできる体験活動を実施します。さらに、小学校1年生から授業の中で英語に慣れ親しむ活動ができるよう、平成27年度(2015年度)までに実施の16校に加え、新たに9校を教育課程特例校に位置づけるとともに、平成29年度(2017年度)までに全ての小学校へ拡充します。

また、「読書センター」及び「学習・情報センター」として学校図書館を活用した教育を充実させるとともに、読書活動支援者の配置等、学校における読書活動推進体制づくりを進めます。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します  
 施策 9 今日の課題に対応した教育の推進

### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】	【担当課】 指導室	
英語教育推進事業	指標 英語3級程度の英語力を有する中学校3年生の割合	H31目標値 70%
英語教育の充実を図るとともに、国際理解教育を推進するため、様々な国の文化をもつ英語指導助手を中学校に配置します。また、小学校に英語指導助手を配置し、英語に慣れ親しむことや積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をねらいとした外国語活動を行い、9年間で充実した英語教育を提供します。	考え方 9年間を通して充実した英語教育を提供する。	当初予算額 57,886 千円
英語コミュニケーション体験事業	【担当課】 指導室	
	指標 参加した児童のうち目標を達成したと評価した児童の割合	H31目標値 100%
小学校3・4年生を対象に「すいたえいごkids」で、英語だけの世界を楽しみながら、必然的に英語に触れる体験活動を行うことで、英語入門期の児童が英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲の向上を図ることを目標とします。	考え方 参加児童が英語を使うことへの意欲関心を持つ。	当初予算額 908 千円
小学校英語マスター事業	【担当課】 指導室	
	指標 6年生全児童のうち目標を達成したと評価した児童の割合	H31目標値 100%
小学校6年生全児童を対象に、エキスポシティ内にある「OSAKA ENGLISH VILLAGE」で、英語を使用して様々なプログラムの体験等、実践的な学習を行い、児童が自ら小学校外国語活動の中で学んだことが活用できたと実感を持たせることを目標とし、中学校における英語学習への動機づけを図ります。	考え方 全ての児童が学んだ英語が活用できたと実感ができる。	当初予算額 6,385 千円
読書活動支援者配置事業	【担当課】 指導室・教職員課	
	指標 一人当たりの年間図書貸し出し冊数 (平成26年度 小学校 23.6冊、中学校 3.8冊)	H31目標値 小学校 40冊 中学校 8冊
小・中学校に読書活動支援者を配置し、学校図書館の充実を図るとともに、児童・生徒の豊かで幅広い読書活動を推進する。	考え方 学校図書館を有効活用し、図書貸し出し冊数の増加を図る。	当初予算額 52,178 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 6 生徒指導の充実

いじめや暴力行為等の問題行動の発生、特別な支援を必要とする児童生徒数の増加、不登校の増加など学校現場を取り巻く環境は複雑化・困難化するとともに、学校に求められる役割は拡大・多様化しています。教育委員会としてはいじめ・不登校、暴力行為等の未然防止や早期解決を図るために、スクールソーシャルワーカーの配置を充実します。また、中学生の豊かな感性、よりよく生きていこうとする実践的態度を涵養する生徒会活動をさらに充実させ、自ら生きる力を育みます。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します  
 施策 10 生徒指導の充実

### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 子どもサポートチーム事業	【担当課】 指導室	
子ども支援のためのサポートチームを編制し、いじめ・不登校・児童虐待等、個別課題を有する児童生徒へのケア及び未然防止に努め、各学校生徒指導体制の実効性・機能性を分析し、児童生徒・保護者・学校等を支援します。また、各18中学校ブロックに1名のスクールソーシャルワーカーを配置します。	指標 課題対応を図った児童・生徒のうち、課題が解決もしくは好転した児童・生徒の割合	H31目標値  100%
	考え方 全ての児童・生徒の課題が解決する。	当初予算額  30,479 千円
【事業名】 生徒指導推進事業	【担当課】 指導室	
中学生の主張大会において、いじめに対する考え方を交流したり、各中学校におけるいじめ根絶に向けての取組発表やいじめ撲滅宣言等を通して、児童会、生徒会活動を活性化させ、児童・生徒の自主・自治活動によるいじめ撲滅に向けての取組を推進します。	指標 生徒会活動等の自治活動によるいじめ撲滅に向けた取組を進めている学校の割合	H31目標値  100%
	考え方 全小・中学校において、児童・生徒の自主・自治活動によるいじめ撲滅に向けての取組を推進する。	当初予算額  309 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 7 特別支援教育の充実

今年度は障害者差別解消法が施行され、基礎的環境整備の推進及び合理的配慮の提供が必要となります。教育委員会では児童・生徒一人ひとりに応じた適切な特別支援教育を行うために、支援学級・通級指導教室を設置するとともに、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成・活用することで、「ともに学び、ともに育つ」教育課程の編成・実施を推進します。

また、学習障がい(LD)、注意欠陥・多動性障がい(ADHD)、自閉症スペクトラム(ASD)などの特別な教育的支援を必要とする園児・児童・生徒の早期発見と対応を図ります。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的人間力の形成  
 基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します  
 施策 13 特別支援教育の充実

#### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】	【担当課】 指導室	
<p>教育上配慮を要する児童・生徒が在籍する学校に、障がい児介助員を配置することで、児童・生徒の生活介助や安全確保にあたります。</p>	<p>指標</p> <p>支援学級在籍児童・生徒数/配慮を要する児童・生徒に関わる教職員数(平成27年度 3.77人)</p>	<p>H31目標値</p> <p>3.5人</p>
	<p>考え方</p> <p>支援学級在籍児童・生徒を指導する教職員数を増やし、児童・生徒の安全を確保する。</p>	<p>当初予算額</p> <p>246,165 千円</p>
【事業名】	【担当課】 指導室	
<p>医療的ケアを要する児童・生徒が在籍する学校に看護師資格を有する介助員を配置し、安全な学校生活と学習活動を保障します。</p>	<p>指標</p> <p>看護師資格を有する介助員数/医療的ケアを要する児童・生徒数</p>	<p>H31目標値</p> <p>100%</p>
	<p>考え方</p> <p>医療的ケアを要する全ての児童・生徒に看護師資格を有する介助員を配置する。</p>	<p>当初予算額</p> <p>30,981 千円</p>
【事業名】	【担当課】 指導室	
<p>肢体不自由訓練・診察の実施、階段昇降機の配置、就学指導等の支援学級在籍の児童・生徒等を支援します。</p>	<p>指標</p> <p>学習環境の整備率</p>	<p>H31目標値</p> <p>100%</p>
	<p>考え方</p> <p>支援学級在籍児童・生徒の教育的ニーズに応じた支援教育を図る。</p>	<p>当初予算額</p> <p>12,300 千円</p>
【事業名】	【担当課】 教育センター	
<p>発達相談員を活用した巡回相談を行ったり、研修を通して、教職員・保護者への理解・啓発を図ることによって、学校・園が発達課題のある子どもを早期発見し、生活面や行動面での二次障がいを防止しながら、有効な手立てを検討するようなシステム作りや、子どもの特性に応じた教育活動の支援を行います。</p>	<p>指標</p> <p>巡回相談訪問回数</p>	<p>H31目標値</p> <p>315回</p>
	<p>考え方</p> <p>週あたり9回の学校訪問を35週間実施</p>	<p>当初予算額</p> <p>8,203 千円</p>

平成28年度(2016年度) 重点項目

8 生涯学習プログラムの充実

生涯学習関連施設では、相互の連携を図るとともに、すべての市民を対象とした幅広い学習の場及び機会の提供と、市民の多様な学習ニーズに応じた学習内容の充実を図っています。

そのため、生涯学習課では、「第3次生涯学習(楽習)推進計画」の策定や、生涯学習市民大学特別講座の地区公民館との共催、また、子どもたちに夢や希望を持って努力することの大切さを学ぶ機会の提供を行いました。図書館では、図書資料だけでなく、様々な情報提供を行うとともに、年代に合わせた講座、行事の実施など市民の読書環境の充実に取り組んでいます。文化財保護課では、旧西尾家住宅の保存に努めるとともに、地域の歴史資料の収集や研究、埋蔵文化財等の調査を行い、文化財の保存、活用等を図ります。

今後、市民の様々な生涯学習活動を支援するため、「いつでも、どこでも、だれでも」生涯学習に取り組める環境を整えていきます。

重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 1 総合的な人間力の育成  
 基本方向 3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます  
 施策 15 生涯学習プログラムの充実

重点項目を構成する事業の概要		
【事業名】 生涯学習吹田市民大学事業	【担当課】まなびの支援課	
「第3次生涯学習推進計画」に基づき、現代的な課題を学ぶ特別講座、市内の各大学との共催により行う大学連携講座をとおり、市民の学びを支援します。	指標	H31目標値
	生涯学習吹田市民大学特別講座の受講者数	450人
	考え方	当初予算額
	特別講座を地区公民館3館にて実施するものとし、5回連続講座を30名が受講した場合の受講者数。	1,897 千円
【事業名】 地区公民館事業	【担当課】まなびの支援課	
趣味や教養、現代的課題を学ぶ講座や、専門的な知識を持った職員を活用して、気軽に行うことのできるストレッチ体操や図書、地域の歴史といった講座を展開し、「歩いて行ける身近な学びの場」である地区公民館でのさまざまな学びを提供していきます。	指標	H31目標値
	地区公民館主催講座の延べ受講者数	59,113人
	考え方	当初予算額
	年間開館日数のうち、3日に1度開催するとして、29館に1講座の定員である20人を乗じた数を基準として1%ずつ増加した場合の受講者数。	14,383 千円
【事業名】 夢と希望を広げる出会い事業	【担当課】まなびの支援課	
児童・生徒等が、吹田市にゆかりがあり優れた能力やキャリアを有し、様々な分野で活躍する方々と出会い、講演や実技指導などを通して、夢や希望を持って努力することの大切さを学び、将来を考える機会を提供します。	指標	H31目標値
	夢と希望を広げる出会い事業の実施回数	5回
	考え方	当初予算額
	小・中学校の授業において年3回実施し、地域教育協議会において年2回実施することを目標にした場合の実施回数。	220 千円
【事業名】 図書館主催行事事業	【担当課】中央図書館	
市民の読書活動を支援し、生涯学習の幅を広げるために講座を企画実施しています。子どもたちの読書の振興と図書館の利用の増加を図るため、人形劇や子ども向け講演会などを実施します。また、博物館や文化スポーツ推進室等と連携した講座などを開催し、様々な市民の利用を促します。	指標	H31目標値
	参加者数	延べ3万人
	考え方	当初予算額
	行事の参加をきっかけに図書館利用へつなげるため、5年間で10%の増加を目標とする。	905 千円



<b>【事業名】 図書館コンピュータシステム整備事業</b>		<b>【担当課】 中央図書館</b>	
<p>ICタグを使った新しい図書館システムを効果的に運用し、図書館資料の貸出、返却、データ管理を行います。従来からのサービスに加えホームページの内容充実を行い、YAサービスの紹介や写真データベースの構築による地域資料サービスの充実を行います。図書館独自のツイッター、フェイスブック等SNSを利用した情報発信も実施しています。</p>	指標	H31目標値	
	ホームページアクセス件数	2,400,000件	
	考え方	当初予算額	
	WEBサービスの入り口である図書館のホームページの利用回数を毎年10万件増を目標にする。	74,987 千円	
<b>【事業名】 旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業</b>		<b>【担当課】 文化財保護課</b>	
<p>歴史的・文化的に価値の高いものとして、建物が重要文化財、庭園が国登録記念物となっている同住宅の価値を損なわないよう適切に保存します。また、吹田市の歴史・文化及び文化財の大切さをよりよく伝えるため、一般公開を行います。あわせて、その価値や味わいを活かしつつ、文化財を身近に感じられるような活用(茶会や茶道教室、講演会、コンサート、所蔵資料品の展示会など)を行います。</p>	指標	H31目標値	
	過去5年の年間平均入館者数	9,106人	
	考え方	当初予算額	
	国有の重要文化財であり、適切に保存し将来の世代へ伝える必要がある。よって、公開・活用にあたっては、保存にもたらす影響について認識した上で慎重に検討することが求められ、単純に目標数値を設定することにはなじまないが、過去5年間の平均入館者数を目標値とする。	34,133 千円	
<b>【事業名】 公開展示事業</b>		<b>【担当課】 文化財保護課</b>	
<p>吹田の通史や千里丘陵の窯業生産をテーマとした常設展示に加え、特別展として春季特別展「田園都市・千里山」、秋季特別展「五反島遺跡展」を開催します。また、館蔵資料を中心とした展示にさわって鑑賞するユニバーサルミュージアムの要素を加えた企画展や自然や環境をテーマとする市民参画展示である夏季展示、むかしのくらしと学校をテーマとした学校教育との連携展示である特別企画を実施します。</p>	指標	H31目標値	
	過去5年間の博物館年間入館者数	29,995人	
	考え方	当初予算額	
	入館者数は展示テーマによって左右されることが多く、数字のみでは評価できない側面があるが、評価の一部として数値化されたものも必要である。	10,857 千円	
<b>【事業名】 文化財保存啓発事業</b>		<b>【担当課】 文化財保護課</b>	
<p>文化財調査の成果を報告にまとめ、文化財保護の啓発を推進するために文化財説明板を設置し、教育委員会で管理する史跡等の管理に努めるとともに、貴重な出土遺物の保存処理を行い、文化財の保存・活用・保護等の啓発を図ります。また、文化財の保存と活用を図るため、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出します。</p>	指標	H31目標値	
	補助金等の交付件数	6件	
	考え方	当初予算額	
	文化財の補助金は文化財の保存のため、現状変更という私有財産権の制限を課すことに対する補償措置とされている。そのため案件に対して精査、金額の決定を行うものであり、件数による数値設定はなじまない。目標値は過去3年間の平均件数。	8,885 千円	

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 9 青少年の仲間づくり・居場所づくりの推進

こどもプラザ事業では、小学校の施設や地域における学習資源等を活用し、平日の放課後等の子どもたちの安心・安全な居場所を提供する「太陽の広場」と、土曜日等に様々な体験活動の場となる「地域の学校」を通じて、子どもの自主性、創造性等を育てています。

国の放課後子ども総合プランでは、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型として「太陽の広場」と「留守家庭児童育成室」を連携して進めることとなっています。本市では、既に両事業を同一小学校内で行い、一体型として連携を進めておりますが、さらに深まるよう共通のプログラムの充実等を図っていきます。

今後は市民との協働を更に進め地域の方々との協力を得ながら、引き続き全36小学校での「太陽の広場」の開催を進めてまいります。また開催回数増加、内容の充実等全市的な拡充を進め、青少年の仲間づくり、居場所づくりの推進を図ります。

#### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 2 社会全体の教育力の向上  
 基本方向 6 地域全体で教育力の向上を図ります  
 施策 27 青少年の仲間づくり・居場所づくりの推進

#### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 こどもプラザ事業	【担当課】 青少年室	
こどもプラザ事業では、小学校の施設や地域における学習資源等を活用し、平日放課後等の子どもたちの安心・安全な居場所を提供する「太陽の広場」と、土曜日等に様々な体験活動の場となる「地域の学校」を通じて、子どもの自主性、創造性などを育てています。 国の放課後子ども総合プランの目指す「太陽の広場」と「留守家庭児童育成室」を一体型として連携を進めます。	指標	H31目標値
	「太陽の広場」開催校	全36小学校
	考え方	当初予算額
	全小学校での実施を目指す。	32,460 千円

### 10 青少年相談の充実

引きこもり、ニート、不登校など、さまざまな課題を抱え、社会とのつながりが希薄になった青少年やその家族が孤立することなく、いつでも相談できる総合的窓口が求められており、そういった現状を踏まえ、特に早期の段階で状態を把握し、適切な機関等が相互に連携し適切な支援を開始していくことが、状態を長期化させないうえで最も重要であることから、教育、福祉、医療、労働などの関係機関等で構成される「社会的ひきこもり」吹田市ネットワーク会議を設置しています。

今後は、ひとりでも多くの青少年を社会参画へと導く体制をより充実させていくため、ネットワーク会議を通じて相談機関が連携をさらに強化し、セーフティネットの拡大に努めます。

#### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 2 社会全体の教育力の向上  
 基本方向 6 地域全体で教育力の向上を図ります  
 施策 30 青少年相談の充実

#### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 青少年活動サポートプラザ青少年相談事業	【担当課】 青少年室	
臨床心理士などの資格を有した専門相談員がひきこもりやニート、不登校、いじめなど様々な理由で社会との関係が希薄になった青少年とその家族に対し、相談を始めとした支援事業を実施します。	指標	H31目標値
	1年度における新規相談件数	200 件
	考え方	当初予算額
	一人でも多くの青少年の支援を目指していく。	34,453 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 11 学校・園施設の整備

学校・園施設は、子どもたちの学習の場であり、安全で、快適に過ごせる施設の整備を計画的に進める必要があります。平成27年度(2015年度)に耐震化が完了したことから、引き続き施設の老朽化対策として、校舎大規模改造事業及び屋内運動場大規模改造事業を平成36年度(2024年度)まで、トイレ施設整備事業を平成32年度(2020年度)までの予定で実施し、施設の長寿命化や維持保全を図ります。平成28年度(2016年度)は、校舎大規模改造工事を小学校4校・中学校2校で、屋内運動場大規模改造工事を小学校3校・中学校2校で、トイレ施設整備工事を小学校9校・中学校2校で整備する予定としています。

また、教育環境の充実のため、小学校の普通教室及び幼稚園の保育室の空調設備につきましては、平成28年度(2016年度)整備完了を目標とし、小学校11校・幼稚園5園で整備する予定としています。

#### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

基本目標 3 豊かな教育環境の創造

基本方向 7 安心・安全で豊かな学校・園の教育環境を整備します

施策 34 学校・園施設の整備

#### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 小・中学校校舎大規模改造事業		【担当課】 資産経営室
小・中学校校舎の大規模改造工事を実施します。	指標	H31目標値
	工事实施校の校数	24校
	考え方 年次計画に基づき整備を実施する。	当初予算額 1,271,683 千円
【事業名】 小・中学校屋内運動場大規模改造事業		【担当課】 資産経営室
小・中学校屋内運動場の大規模改造工事を実施します。	指標	H31目標値
	工事实施校の校数	20校
	考え方 年次計画に基づき整備を実施する。	当初予算額 856,361 千円
【事業名】 小・中学校トイレ施設整備事業		【担当課】 資産経営室
小・中学校のトイレ施設整備工事を実施します。	指標	H31目標値
	工事实施校の校数	43校
	考え方 年次計画に基づき整備を実施する。	当初予算額 1,069,390 千円
【事業名】 小・中学校及び幼稚園の空調設備整備事業		【担当課】 保健給食室・資産経営室
幼児・児童・生徒の教育環境を充実するため、普通教室の空調設備を整備します。	指標	H31目標値
	小・中学校、幼稚園の普通教室、保育室の空調設備設置率	100%
	考え方 H28年度末までに、普通教室、保育室の空調設備を整備する。	当初予算額 713,345 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 12 安心・安全の確保

市立小学校及び市立幼稚園の校園門に警備員等の配置を行い、子どもたちの学校園生活の安全を確保します。

市立小学校は、学校課業日に警備員を配置し、夏季・冬季・春季の休業期間中はシルバー人材センターによる受付員を配置、市立幼稚園は、単独園2園に警備員を配置し、小学校に併設している14園にシルバー人材センターによる受付員を配置します。

今後も人の目による抑止力が重要であるとの考えの下、事業の継続を図ります。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

基本目標 3 豊かな教育環境の創造

基本方向 7 安心・安全で豊かな学校・園の教育環境を整備します

施策 35 安心・安全の確保

### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 小学校安全対策事業	【担当課】 教育総務室	
小学校のより徹底した防犯体制の確立と子どもたちの安全確保を目的に警備員等を配置し、校門付近を常時監視することで、来校者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止・抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施します。	指標	H31目標値
	学校内への不審者侵入件数  考え方 児童の学校内での安全を確保するため、引き続き警備員等を校門に配置する必要がある。	0件  当初予算額  63,180 千円
【事業名】 幼稚園安全対策事業	【担当課】 教育総務室	
幼稚園のより徹底した防犯体制の確立と子どもたちの安全確保を目的に警備員等を配置し、園門付近を常時監視することで、来園者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止・抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施します。	指標	H31目標値
	幼稚園内への不審者侵入件数  考え方 園児の幼稚園内での安全を確保するため、引き続き受付員等を園門に配置する必要がある。	0件  当初予算額  12,473 千円

平成28年度(2016年度) 重点項目

13 学校・園運営体制の確立

児童の暴力行為の増加や特別な支援を必要とする児童数の増加など、小学校における学校現場の環境は複雑化・困難化しています。そこで教育委員会としては人的支援を行うことにより、重大事案や緊急時の対応、及び多様化した課題を持つ児童に対するきめ細かな支援の一層の充実を図り、落ち着いた学習環境の構築をめざします。

重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 3 豊かな教育環境の向上  
 基本方向 8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます  
 施策 40 学校・園運営体制の確立

重点項目を構成する事業の概要

【事業名】	【担当課】	
小学校スタートアップ事業	指導室・教職員課	
幼稚園や保育所等から小学校への急激な学習・生活環境の変化の中でつまずきや戸惑いを見せたり、不適応行動をとり始めたりすることの多い小学校第1学年の児童に対して、「個に応じたきめ細かな」指導を充実させ、スムーズな移行を図るとともに、虐待の兆候等を早期に発見、早期に対応することで問題解決につなげ、学習や生活をサポートするため、支援者の「スターター」を配置します。	指標	H31目標値
	学校規模に応じたスターターの配置の割合	100%
	考え方	当初予算額
	各小学校1名に加え、推計第1学年5クラス以上の大規模校にさらに1名配置	26,975 千円
小規模校支援事業	【担当課】指導室	
小学校で11学級以下の小規模の場合や単一学級の学年がある場合、教員数は学級数に応じて配置が少ない。多様化した教育課題への対応や緊急時の対応が厳しく、また教員一人が担当する校務分掌が多くなるため、教員を加配することで学校力の低下が生じないよう支援します。	指標	H31目標値
	小学校で11学級以下の小規模学校や単一学級の学年がある学校のうち、教員を加配した学校の割合	100%
	考え方	当初予算額
	小学校で11学級以下の小規模学校や単一学級の学年がある全ての学校に教員を加配する。	8,985 千円

平成28年度(2016年度) 重点項目

14 教育資料の提供と教職員研修の充実

最新の教育情報や教育実践資料等を収集するとともに、教育の今日的課題や吹田市の重点施策について調査・研究を推進し、成果等を発信することで学校での教育実践に生かします。また、教職員研修については、初任者や経験年数の少ない教職員が占める割合が増加する中、さまざまな教育課題や教職員のキャリアステージ、ニーズに対応したもの等内容を一層充実させ、教職員の専門的知識・技能の習得、資質向上、指導力の向上を図り、円滑な学校経営の推進を図ります。

重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

- 基本目標 3 豊かな教育環境の向上  
 基本方向 8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます  
 施策 41 教育資料の提供と教職員研修の充実

重点項目を構成する事業の概要

【事業名】	【担当課】教育センター	
<p>【事業名】 教職員研修事業</p> <p>さまざまな教育課題や教職員のキャリアステージ、ニーズに対応したもの等内容を一層充実させ、教職員の専門的知識・技能の習得、資質向上を図り、円滑な学校経営の推進を図ります。</p>	指標	H31目標値
	<p>教職員研修延べ参加者数</p> <p>考え方 教職員の自己研鑽意欲を高め、研修参加を促していく必要がある。</p>	6000人
<p>【事業名】 校内研修事業</p> <p>学校に講師を招いて研修を行うとともに、様々な専門の講習会・研修会に参加することで、教職員の自己教育力の高揚と指導力及び資質の向上を図っています。</p>	指標	H31目標値
	<p>校内研修会参加人数</p> <p>考え方 校内研修会を活性化し、特色を生かした学校づくりを支援していく必要がある。</p>	1590人
<p>【事業名】 研究学校事業</p> <p>今日的課題や重点項目にかかわる研究を学校に委嘱し、教員の資質や学校体制のあり方を改善するとともに、児童・生徒の学力向上を図っています。さらに、研究成果を校外に発信し市全体の教育力を高めています。</p>	指標	H31目標値
	<p>委嘱研究校の公開授業回数</p> <p>考え方 委嘱研究校における研究成果を発信し、全校が共有していく必要がある。</p>	15回
<p>【事業名】 教育課題調査・研究推進事業</p> <p>学校園の教職員に研究員を委嘱し、教育に関する専門的、今日的課題等の調査・研究活動を行っています。また、調査・研究の成果を積極的に発信することで、各学校・園における教育実践力の向上と教育活動の充実・活性化を図っています。</p>	指標	H31目標値
	<p>研究グループ活動回数</p> <p>考え方 教育課題への調査・研究を行うため、教職員に対する活動を活性化し、支援していく必要がある。</p>	66回
<p>【事業名】 教育研究大会事業</p> <p>全ての教職員が、今日的課題や本市の重点施策について学び、今後の教育活動に活かすための相互理解の場としています。</p>	指標	H31目標値
	<p>大会実施の後アンケート結果から、学びが深まり、充実感を得た教職員の割合</p> <p>考え方 参加者にとって学びが深まり充実感の高い研究大会を実施する必要がある。</p>	100%
		当初予算額
		3,671 千円
		当初予算額
		1,253 千円
		当初予算額
		610 千円
		当初予算額
		2,457 千円
		当初予算額
		285 千円

## 平成28年度(2016年度) 重点項目

### 15 生涯学習施設の整備・充実

老朽化した施設の整備や、更新を行うことにより生涯学習施設の充実を図るため、狭隘で老朽化した公民館の大規模改修工事等を、毎年1館実施します。  
 今後も、引き続き生涯学習施設の機能の充実を図り、各施設の持つ機能や立地条件などを活かした教育施設の体系化を図ります。

### 重点項目につながる教育ビジョンの目標・方向・施策

基本目標 3 豊かな教育環境の向上  
 基本方向 9 生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます  
 施策 43 生涯学習施設の整備・充実

### 重点項目を構成する事業の概要

【事業名】 地区公民館の改修	【担当課】まなびの支援課	
地区公民館の老朽化に伴い、年次的に大規模改修工事等を実施します。	指標	H31目標値
	改修件数	4
	考え方	当初予算額
	基本的に大規模改修については、1年間に1館が原則。	274,061 千円